

講義ユニット名	救急集中治療医学		所属科目名	全身性疾患制御学
講義ユニット 責任者	しめ のぶあき 志馬 伸朗	所属	救急集中治療医学 (内線 5456)	
		メール	nshime@hiroshima-u.ac.jp	
講義ユニット コーディネーター	おおしも しんいちろう 大下 慎一郎	所属	救急集中治療医学 (内線 5456)	
		メール	ohshimos@hiroshima-u.ac.jp	
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。			
概要	【一般目標】救急医療を中心とした急性期医療の内容と問題点を知る。救急現場で出会う可能性が高い病態に適切に対処できるようになるために、緊急度、重症度の評価法および各種病態のメカニズムと診断、治療法について修得する。			
講義ユニットの 到達目標	<p>日本における救急医療の現状と問題点について説明できる。</p> <p>日本における集中治療の現状と問題点について説明できる。</p> <p>日本における救急医療制度の現状と問題点について説明できる。</p> <p>救急初療室（ER）における診療原理と患者診察法を理解する。</p> <p>集中治療室（ICU）における診療原理と患者診察法を理解する。</p> <p>病院前診療/メディカルコントロールについて理解する</p> <p>敗血症の病態生理と定義を理解・説明できる。</p> <p>敗血症の初期治療を説明できる。</p> <p>敗血症の標準的治療をガイドラインに沿って理解する。</p> <p>心肺蘇生法におけるCABについて説明できる。</p> <p>Basic life supportを理解/実践できる。</p> <p>Advanced life supportを理解する。</p> <p>心肺蘇生後管理法を理解する。</p> <p>航空医学の基礎的原理について説明できる。</p> <p>ドクターヘリの概要を説明できる。</p> <p>外傷の定義・分類・病態生理を説明できる。</p> <p>胸部・腹部・骨盤外傷の診断・診療を説明できる。</p> <p>Damage control surgery の目的・適応を説明できる。</p> <p>アナフィラキシー・アレルギーの症候・診断・治療を説明できる。</p> <p>急性中毒の症候・診断・治療を説明できる（アルコール、一酸化炭素、向精神薬、解熱鎮痛薬、金属、食餌性毒物）</p> <p>高体温・低体温による障害を説明できる。</p> <p>熱傷の重傷度を説明できる（面積（9の法則）・深達度）</p> <p>熱傷時の病態生理と治療法を説明できる。</p> <p>ショックの定義・原因・病態生理・診断法・治療法を説明できる。</p> <p>循環動態モニタリングを説明できる。</p> <p>頭部外傷の症候・分類・診断法・治療法を説明できる。</p> <p>（急性硬膜外・硬膜下血腫、慢性硬膜下血腫）</p> <p>脳卒中の症候・診断を説明できる。</p> <p>急性呼吸不全の定義・分類・鑑別疾患・病態生理・治療法について説明できる。</p> <p>致命的喘息発作・気胸・重症肺炎の病態生理・治療法について説明できる。</p> <p>胸部X線・CTの所見を評価できる。</p> <p>肺保護人工呼吸法について説明できる。</p> <p>重症感染症の診断・治療法について説明できる。</p> <p>抗菌薬適正使用管理について説明できる</p> <p>集中治療における急性血液浄化の原理・方法・適応について説明できる。</p> <p>緊急被ばく医療の定義を説明できる。</p> <p>日本の緊急被ばく医療システムを説明できる。</p>			
講義日程	別紙日程表を参照のこと			

出席の取り扱い	3分の2以上の出席がない場合は試験（本試験、追試験とも）の受験資格を与えない。なお、出席は、出席状況把握システムと、講義終了時のミニテスト両方により評価する。
評価項目	到達目標（上記）の達成度
評価法	MCQ形式にて試験を行う。 本試験における合格基準は、基本的には絶対基準で60点とするが、得点率60%未満の受験者が総受験者の10%を超えた場合には平均点 $-1.5 \times$ 標準偏差を合格基準とする。
推奨参考書	<p>【購入を推奨する参考書】</p> <p>標準救急医学 第4版：日本救急医学会監修、医学書院</p> <p>【その他、学習に有用な参考書等】</p> <p>Surviving sepsis campaign guidelines 2016</p> <p>JRC(日本版) 心肺蘇生ガイドライン2015：医学書院</p> <p>外傷初期診療ガイドライン 第3版；日本救急医学会・日本外傷学会監修、へるす出版</p> <p>抗菌薬の考え方・使い方：中外医学社</p> <p>臨床中毒学；相馬一玄監修、上條吉人執筆：医学書院</p>